

1. 実施機関名

国立大学法人名古屋大学

2. 企画名

名大 MIRAI GSC

3. 総合評価コメント

受講生の募集に関して、東海地区4県を中心とした各県の教育委員会、公立高等学校長会、私学協会の協力のもと、これまで緊密な関係を築いていた高校以外にも積極的に個別訪問して認知度を高め、3年度目からは目標の3倍以上もの応募者を集めた点は評価できる。応募者の在籍学校数も初年度より2倍以上増加しており、多様な生徒の募集が図られていた点も良い。また、育成プログラムにおいて、受講生が二人一組のペアとなり切磋琢磨しながら協働する共同研究の仕組みや、海外の大学で実践的英語力を醸成させる研究発表の場を設けるなど、国際性付与の取組は特徴的かつ効果的であった。さらに、受講生からの悩み相談窓口の設置やメンタルヘルス・ケア講話、タイムマネジメント・ストレスケア講話などの丁寧なサポートも良い。

一方、最終年度にプロシードコースが新たに設置されたものの、第2ステージ以降の研究活動の期間が短く、研究の深化という面においてはやや弱さが見受けられる。また、研究活動に関するマネジメントにおいては、受講生の指導について各研究室任せとせず、進捗状況や伸長度を一元的に把握できる体制の構築が望まれる。

今後、実施機関としての経験や本企画での実績を生かし、全学的な協力体制の維持と長期的な企画の継続を行うとともに、積極的な情報発信などによる企画の成果やプログラムの社会への普及・展開を期待する。